

## 窓口支援事例 【鳥取県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

### 企業情報

有限会社松村精機

所在地	鳥取県鳥取市		
ホームページ URL	http://www.matsumuraseiki.com/		
設立年	1972 年	業 種	製造業
従業員数	12 人	資本金	1000 万円

### 企業概要

当社は、ステンレス加工・プレス加工・冷間鍛造製造・金型製造をメインとする事業を行っています。当社では、ワンステップ進めた付加価値の高い製品を提供することをモットーに、研究開発から製造、そして販売まで一貫したシステムでお客様の必要とする要望どおりの製品を製作します。

今日では、高い技術力を要求される少ロットの製品作りのニーズが増えました。当社は、いわゆる大企業の嫌がる分野において、フレキシブルな対応を可能とし、設計から加工までの一貫した製造体制でお客様のニーズにお応えします。



### 自社の強み

- ・卓越された最高技術
- ・できる可能性を考える
- ・長年培った生産能力

当社では、高度の技術と経験を必要とする「冷間鍛造技術」、そして「プレス金型技術」、「切削技術」の3つの技術を抱き合わせることにより、付加価値ある製品を大量生産することができます。



### 一押し商品

商品名「ポールキャッチャー」！

脚立・はしごからの転落事故の話をよく聞くようになり、全国的にも転落事故が多数報告されています。ひどい場合には、転落して頭部を強打し死亡に至ったという事故情報もあります。事故の大半は、庭木の剪定中や屋根等の修理といった住宅周りの作業中に発生しているとのことです。当社では、このような転落事故をなんとか未然に防止出来ないものかと試行錯誤、研究・開発を進め、この度、開発に成功し、製品化に至りました。



商品紹介 URL： <http://www.matsumuraseiki.com/list/199>

## 知財総合支援窓口活用のポイント

### 窓口活用のきっかけ

当知財総合支援窓口では、以前から、同社の知的財産に関する課題の支援を行っていましたが、今回は、連携機関である鳥取県よろず支援拠点からの要請で、はしご転倒防止装置「ポールキャッチャー」をビジネスとして軌道にのせるための支援を行うことになりました。

### 最初の相談概要

出願前の段階で試作品を数人に見せているということでしたので、秘密保持契約の必要性及び重要性について助言し、専門家（経営指導員）と共に同社を訪問し、特許出願・販路支援等についての支援を行いました。

### その後の相談概要

経営指導員の指導により大手企業との取引を開始し、企業OBによる取扱説明書の指導で商品として仕上げ、中小企業支援センター支援員による事業化支援、特許流通支援員による大手企業との契約支援、よろず支援拠点によるビジネスプラン支援と、分野ごとの専門家を総動員して課題を解決しました。

### 窓口を活用して変わったところ

今回は2回目の自社開発商品の事業化ですが、1回目では得られなかった大手企業の好評価が後押しし、今まで以上に事業化には知的財産が重要であることを認識されました。また、商品開発から販売までの事業に必要な事項を学習されたことから、次の開発商品には今回の経験を活かされ、円滑に事業化が推進されるものと期待します。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

独自技術を実施した商品の企画・設計から販売までを行う企業には、ニーズ調査、他社特許権の侵害回避、強度確認、取引や売買契約、一連の事業化プランなど、多くの課題が山積します。これらの課題解決には、知財総合支援窓口を活用しその分野に長けた専門家に頼ることが、一番の早道です。

### 窓口担当者から一言（氏名：福本 正美）



当社は、他社にない優れた加工技術を持っておられます。その強みを活かした技術とニーズと各専門家が有機的に繋がり、今回の支援ができました。既に、大手企業からは次の共同開発も打診され、同社の強みとなる技術とアイデアが評価されたものと思います。